

## 大学生等消防団員奨学金制度

岐阜県 大垣市消防団

### 1 はじめに

大垣市は、日本列島のほぼ中央、濃尾平野の西北部に位置しています。

面積206.57km<sup>2</sup>、人口約16万人と岐阜県第2の都市で、西濃地域の産業、文化をリードする中心都市です。

平成18年3月27日、上石津町及び墨俣町と合併し、新しい歴史の一步を踏み出し、上石津町の緑豊かな自然や里山、墨俣町の一夜城や犀川の桜堤など、たくさんの個性や魅力を生かしたまちづくりを進めています。

また、本市は、揖斐川水系の自噴帯にあり、古くから「水都」と呼ばれ、良質で豊富な地下水に恵まれ、市民生活はもとより工業用水として大正初期から繊維産業を中心に内陸工業都市として発展してきました。

管内図



### 2 大垣市消防団の概要

大垣市消防団は、明治8年の私設消防組（東組、西組）の結成に始まり、明治10年の私設消防組「大文字消防組」の設立、大正9年6月の「大垣市消防組」への改称を経て、昭和22年9月の大垣市消防団条例公布に伴い、自治体消防を発足しました。

平成18年3月の市町村合併に伴い、大垣消防団、上石津町消防団、墨俣町消防団の3団になり、団員の定員を750人に改正し、平成26年4月には3団を統合しました。

また、平成22年からは、機能別団員の登用も開始し、現在は、連合自治会ごとに、25の分団を設置し、平成

29年4月1日現在、681人（機能別団員61人）の団員が在籍しています。

### 3 大学生等消防団員奨学金制度の導入

本市の消防団は、近年、少子高齢化などの影響により、団員が減少しているとともに、就業構造の変化により、一般団員のうち、約8割がサラリーマンなど被雇用者で、平日昼間の災害時に活動できる人材を確保することが難しくなっています。

市はこれまで、イベント会場などで若い人を中心に勧誘を続けてきましたが、市内に大学や短期大学、専門学校などが集まっていることから、大学生等の修学に係る経済的負担を軽減するとともに、消防団への積極的な加入促進を図るため、平成29年4月から全国で初めて「大学生等消防団員奨学金制度」を導入しました。

募集に当たり、市内の大学や短期大学等6校に赴き、消防団活動を説明し、本制度への理解、協力を依頼しました。

各大学等の担当窓口を通じて学生の団員募集を行った結果、岐阜経済大学からは、全国初ということで注目度も高く、大学としても地域貢献の観点から、学生への積極的な呼び掛けを行ってもらい、男子10人の応募がありました。

また、大学独自に同様の奨学金制度を設けることや、火災出動など消防団活動で授業を欠席する場合を公欠扱いとするなど、学生を後押ししてもらい、活動しやすい環境を作ってもらいました。

応募した学生に対しては、制度の説明会や、学生と所属する各分団長との顔合わせ会を開催後、平成29年3月26日の入退団式において辞令交付を行い、4月から「大学生等消防団員奨学金制度」をスタートすることができました。



学生と分団長との顔合わせ会（H29.3.13）



入退団式・辞令交付 (H29.3.26)



市消防操法大会 (H29.7.2)

## 4 大学生等消防団員奨学金制度の概要

- (1) 対象者
  - ・市内に居住していること
  - ・市内の大学（大学院及び短期大学を含む。）又は、専修学校（修業年限が2年以上の専門課程に限る。）に在学していること
  - ・在学期間中に、大垣市消防団の一般団員として2年以上活動すること（4年間を上限）
- (2) 募集人数  
毎年10人程度
- (3) 奨学金の額  
月額10,000円 給付型奨学金（返済不要）
- (4) 奨学金の支給  
3か月に1回とし、活動状況を確認して支給する。  
活動実績はおおむね3割以上の出勤とし、出勤回数  
が3割に満たない学生には奨学金を支給しない。

## 5 学生消防団員の活動状況

現在、10人の学生が消防団員として活躍し、大学に近い分団や中心市街地の分団など、団員数が少ない分団に2～3人ずつ入団してもらい、分団員の増につながっています。

また、水防工法大会や操法大会などに積極的に参加してもらい、上位の成績を収めるなどの成果を上げています。



市水防工法大会 (H29.5.28)

## 6 学生消防団活動認証制度

本市の消防団員として、1年以上活動した学生の就職活動を支援し、若い世代の入団意欲を高め、人員確保につなげることを目的に、奨学金制度の導入に併せて、平成29年4月1日に学生消防団活動認証制度をスタートさせました。

この制度が少しでも消防団で活動している学生の励みになり、消防団活動に興味を持つ学生が増えるきっかけになればと考えております。

## 7 おわりに

本市消防団では、会社員、自営業者、学生など様々な職種、男女を問わず幅広い年齢層の方が団員として活躍しています。

現在、全国で大学生の消防団員が年々増加する中、学生には、奨学金制度を活用していただき、学業との両立は大変かと思いますが、ぜひ若い人の力で消防団を活性化させてほしいと願っています。

そして、消防団活動や自主防災組織活動などに関心をもち、卒業後も市内に定住して、地域防災の将来の新たな担い手となってもらうことを期待しています。

今後も、消防団を中核とした地域防災力の充実強化のため、積極的に消防団への加入促進を図り、地域住民の安全・安心を守ってまいります。



募集チラシ